

プラハへ時空の旅

スメタナ 連作交響詩

「我が祖国」

©Earl Ross



2025 **5.17** (土)

14:00 開演
(13:00 開場)

岡山シンフォニーホール
大ホール

[友の会発売日] 2月1日(土) 10:00～ [一般発売日] 2月8日(土) 10:00～

S席 5,500円 / A席 4,400円 / B席 3,300円 / B(ユース)席 1,000円

※「友の会」会員は10%割引。 ※B(ユース)席は19歳以下に限る。(学生証をお持ちの方は25歳未満までご購入いただけます)

※未就学児童の入場はお断りいたします。また小学生以上の場合には入場券が必要です。 ※やむを得ない事情により、曲目、出演者が変更となる場合があります。

※当ホールには駐車場がございません。公共交通機関のご利用をお願いします。

プレイガイド

岡山シンフォニーホールチケットセンター TEL 086-234-2010

岡山芸術創造劇場ボックスオフィス TEL 086-201-2200

岡山県音楽文化協会 TEL 086-224-6066

ぎんざや TEL 086-222-3244

イープラス eplus.jp/ ファミリーマート

チケットぴあ <https://t.pia.jp/> [Pコード: 287-984]

ローソンチケット <https://l-tike.com/> [Lコード: 63025]

岡山シンフォニーホール / 岡山文化芸術創造オンライン・チケット ▶
<https://piagettii.s2.e-get.jp/ocacticket/pt/>



「我が祖国」が描く故郷の情景とともに、その響きは未来へと受け継がれていきます。
新しい一歩につながる特別なコンサートを、ぜひ一緒に。



指揮 三ツ橋 敬子

KEIKO MITSUHASHI

東京藝術大学及び同大学院を修了。ウィーン国立音楽大学とキジアーナ音楽院に留学。小澤征爾、小林研一郎、ジェルメッティ、アツツェル、シュナイト、湯浅勇治、松尾葉子、高階正光の各氏に師事。2006年トスカーナ管弦楽団とのツアーを指揮してヨーロッパデビュー。2008年第10回アントニオ・ベドロッチ国際指揮者コンクールにて優勝。併せて聴衆賞、ベドロッチ協会賞を受賞し、最年少優勝で初の3冠に輝いた。2010年第9回アルトゥーロ・トスカニーニ国際指揮者コンクールにて女性初の受賞者として準優勝。併せて聴衆賞も獲得。これまでに札幌交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、群馬交響楽団、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢、大阪フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団、岡山フィルハーモニック管弦楽団、広島交響楽団、九州交響楽団と共演している。2009年Newsweek Japan誌にて「世界が尊敬する日本人100人」に選出。2013年第12回齋藤秀雄メモリアル基金賞を受賞。趣味はクルーズ。一級小型船舶操縦士として航海に出ている。



岡山フィルハーモニック管弦楽団

OKAYAMA PHILHARMONIC ORCHESTRA

1991年に開館した岡山シンフォニーホールは、国内外のアーティストから音響の素晴らしいホールとして高い評価を獲得。これを機に文化庁の補助を受け、岡山にゆかりのある演奏家を中心に構成された岡山県初のプロオーケストラ。1992年に創設された。

以来、世界の著名な指揮者、ソリストを迎えて開催する定期演奏会をはじめ、若い演奏家の育成事業、青少年の情操教育に資する事業、子育て支援や地元演奏団体との共演等、地域における音楽芸術振興の中心的な役割を担っている。

2013年には初の首席指揮者としてハンスイェルク・シェレンベルガーが就任。また、2022年度からは、秋山和慶がミュージックアドバイザーに就任し、一層の飛躍を図っている。

受賞歴

- 平成12年 第1回岡山芸術文化賞グランプリ受賞
- 平成15年 第4回福武文化奨励賞受賞
- 平成16年 第1回マルセン文化賞受賞
- 平成21年 岡山県教育関係労務者表彰
- 平成24年 山陽新聞奨励賞受賞

※ 2025年6月より岡山シンフォニーホールは2年間の改修工事のため休館します。
その間、岡山フィルハーモニック管弦楽団は岡山県内外での演奏を行います。

公式SNS

- 岡山シンフォニーホール & 岡フィル

✕ @hall_okaphil

📷 @hall_okaphil

📍 岡山シンフォニーホール

- 柴×ケンのつぶやき

✕ @shibakenoke

岡フィル音楽主幹「柴」と事務局員「ケン」が、ゆるーく不定期に日々つぶやきます